

新しい働き方で企業の可能性を広げよう

ショートタイムワークとは

さまざまな事情でフルタイム勤務が困難な方が短時間から就業できる働き方

どんな業務を担えるの？

企業の業務の中で、**本業(中枢業務)**以外の業務を切り出し
短時間就業者(ショートタイムワーカー)に担ってもらう



営業のAさん

資料
作成

商談

市場
調査

デー
タ
入
力



宿泊業のBさん

接客

室内
清掃

案内
説明

予約
確認



ショートタイムワーカーが担当

導入メリット

- ✓ 人材不足の解消
- ✓ 多様な人材の確保
- ✓ 従業員の満足度向上
- ✓ 企業/組織の生産性向上
- ✓ 社会貢献による企業価値向上

具体的
事例は裏面へ

ショートタイムワークを通じたひきこもり支援

ショートタイムワーク体験会の開催などにより、ひきこもり当事者と、当事者の雇用を考えている企業が、お互いの不安を軽減しながらマッチングを行い、社会参加に繋げていく



ショートタイムワークを通じた ひきこもり支援に参加しませんか ～ 人手不足解消にも繋がります！ ～

飲食

<高松市参加支援事業の事例>

- ・うどん店のテーブル拭きや茶碗洗いを1日1時間担当
- ・店主1名で回していたが、軽作業を切り出すことで店主にもゆとりができ、作業を通じて当事者のコミュニケーションの幅も広がり社会参加の後押しに繋がった

事務

<一般企業事例>

- ・今まで社員が対応していたイベント場所の情報収集を切り出し、週に1日3時間在宅で80件の情報収集を担当。社員と同様のアウトプットにより効率化に繋がった
- ・日常業務が忙しくなかなか手が付けられていなかった社内システムデータの更新作業を切り出し、週に3日3時間/日在宅で更新作業を行うことでスピード化が図れた

清掃

<一般企業事例>

- ・コールセンターの休憩室の清掃や倉庫の荷物の整理整頓を週に2回2時間/日行う予定
- ・従来社員が担っていた部分を切り出すことにより効率化とオペレーターの福利厚生の向上に繋がる見込み

札幌市における「ひきこもり支援」について

札幌市では、ひきこもり当事者が、本人の意向やペースに合わせながら、就労や社会参加の機会を広げていくことを支援しており、ソフトバンク株式会社と協力しながら「ショートタイムワーク体験会」の開催等を行っています。「業務の切り分け」「短時間勤務」など、ひきこもり当事者の特性に配慮した工夫により、ひきこもり当事者が働く機会を広げる取組に、ご協力いただける企業を募集しております。

<お問合せ>

《ショートタイムワークについて》

・ソフトバンク株式会社 CSR本部

sbmgrp-shorttimework@g.softbank.co.jp

《ひきこもり支援事業について》

・札幌市精神保健福祉センター

電話：011-622-5190(代表)